

平成 23 年 度 教 育 研 究 業 績 書

氏名 確井 照子

最終学歴	奈良女子大学文学部大学院地理学専攻修了	
取得学位	文学修士	
所属学会	日本地理学会、人文地理学会、GIS学会 経済地理学会 歴史地理学会 写真測量学会 日本リモートセンシング学会 建築学会 日本地理教育学会 全国地理教育学会 奈良地理学会 近畿都市学会 システム農学会 地理空間学会	
専門分野	GIS(地理情報システム) 人文地理学 都市地理学 計量地理学 地理教育	
研究課題	GISデータモデル論 防災GIS 自治体GIS 地理教育必修化等	
授業科目	学部担当科目	地理情報システムⅠ、地理情報システムⅡ、画像処理リモートセンシング 地理情報システム技法 文献調査法(七) 地理学演習(七) 地理学卒論演習(七)
	大学院修士課程担当科目 (博士前期課程含)	人文地理情報特論 人文地理演習
	大学院博士後期課程担当科目	なし(地理学科には博士後期課程がないため)
	通信教育部担当科目	地理情報システム
【研究上の特記事項】	GIS研究の環境が整備されている奈良大学は、東京大学空間情報科学研究センター(CSIS)の地方拠点校になっている。東大の客員教授でもり、研究上で、CSISとの連携研究が多い。	
【教育上の特記事項】	学生の自主的活動を重視し、防災調査を一八年間実施してきた。防災調査の中で、グループ学習のあり方や社会貢献としてのボランティアの必要性	
【社会的活動】	GISは、社会との関係が深い地理空間情報技術である。出来る限り、研究成果が、地域社会に還元できるように社会との連携を重視している。	
【学内活動】 (学内職歴を含む)	学内では、情報処理関係の委員会で活躍している	

研究業績[著書、学術論文等]				
著書、学術論文等の名称	単著、共著の別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は発表学会等の名称	概要
(著書)				
①東日本大震災からの日本の再生	共著	2011年6月	中央公論新社	伊藤滋, 尾島俊雄編 「GISと国土情報」を執筆
②Republic Japan after Great East Japan Earthquake and Tunami	共著	2011年8月	Asia institute of urban environment	Geographic Information System and National Land Information, Shigeru Ito and Toshio Ojima
③				
④				
⑤				
(学術論文)				
①デジタル化と地理教育-教育情報化における学校と地域の連携-	単著	2011年9月	学術の動向, Vol. 16, No. 9, pp. 52-55	
②東日本大震災におけるGISの利活用	単著	2011年10月	GIS学会講演論文集	
③地域の視点から見る復旧・復興のデザインと地方自治体のペアリング支援」	単著	2011年12月	学術の動向Vol. 16 (2011) No. 12, pp. 88-91	
④				
⑤				
(学会発表)				
①「地理基礎」・「歴史基礎」必修化に関する日本学術会議の提言	単	2011年9月	日本地理学会秋季学術大会	
②				
③				
④				
⑤				
(その他)				
①地理空間情報活用推進基本法と都市再生街区基本調査(9) Uコードと地籍調査の重要性-来るべきロボット共存社会のインフラ整備へ-	単著	2011年1月	国土調査, 147, 新年号 全国国土調査協会, pp. 7-10, 2011-1	
②地理空間情報活用推進基本法と都市再生街区基本調査(10) -東日本大震災とGIS利	単著	2011年8月	国土調査, 149, 全国国土調査協会, pp. 40-45, 2011-8.	
③「地理基礎」「歴史基礎」提言の背景(特集 高校「地理基礎」への試み)	単著	2011年1月1日	地理 56(11), pp. 33-42	
④				
⑤				